



南の躍動

令和5年度 第5号

奄美のよさを生かした魅力・活力ある教育の推進

大島教育事務所 令和6年3月14日



児童生徒の夢の実現に向けて ～令和5年度鹿児島学習定着度調査結果から～

令和5年度の鹿児島学習定着度調査の大島地区の結果（数値は3月13日現在）は、右の表のとおりです。小学5年の国語、社会、算数の3教科、中学1年の社会、理科の2教科、中学2年の社会、理科の2教科が県平均を上回りました。また、令和4年度の県平均との差を比較してみると、小学5年は社会、算数の2教科、中学1年は社会の1教科、中学2年は、全教科で前年度より向上した結果となりました。日々の授業改善や良問の活用等の地道で着実な取組が成果につながったと感謝しています。しかし、依然として課題の残

教科	問題別	小学5年		中学1年		中学2年	
		大島	県平均との比較	大島	県平均との比較	大島	県平均との比較
国語	令和4年	72.3	+1.4	70.3	-0.1	68.2	-2.8
	令和5年	69.1	+0.6	74.3	-1.6	63.6	-2.0
	R4とR5の県平均比		-0.8		-1.5		+0.8
社会	令和4年	80.3	+2.8	68.3	-0.1	54.6	-0.6
	令和5年	68.7	+3.4	55.1	+0.7	62.7	+0.4
	R4とR5の県平均比		+0.6		+0.8		+1.0
数学 算数	令和4年	69.6	+2.2	71.1	+0.2	71.0	-1.5
	令和5年	77.9	+3.3	73.1	-1.2	68.8	0.0
	R4とR5の県平均比		+1.1		-1.4		+1.5
理科	令和4年	72.6	+0.9	63.3	+0.1	60.6	-1.9
	令和5年	75.1	-0.3	66.4	+0.1	68.0	+1.1
	R4とR5の県平均比		-1.2		0.0		+3.0
英語	令和4年			76.0	+0.3	65.4	-2.4
	令和5年			76.6	-0.4	70.8	-0.6
	R4とR5の県平均比				-0.7		+1.8

更に、自校の結果分析を基にした指導方法の改善や良問への取組を計画的かつ継続的に取り組んでいくことが必要です。学年末のまとめの時期です。児童生徒一人一人に該当学年で身に付けさせるべき学力をしっかりと定着させ、次年度につなげてください。児童生徒の夢の実現に向けて、一人一人を大切にするとともに、これからの社会を生きていくことができる資質・能力を最大限伸ばしていくために教育活動の充実をお願いします。

学校間連携の充実のために ～切れ目ない支援の充実を目指して～

特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒にとって、特に就学や進学時の移行期は、心身共に負担が大きくなることが考えられます。新たな学びの場でのスタートをスムーズに切るためには、それまでの支援を継続することが大切で、学校間における連携が必要となります。「学校間連携ハンドブック～支援の必要な幼児児童生徒に対する切れ目ない支援の充実を目指して～」(令和3年3月 鹿児島県教育委員会)には、各校種ごとの校内支援体制の例示、移行期における学校間連携のモデル、関係機関との連携、保護者への理解啓発など、支援の必要な幼児児童生徒に対して切れ目ない支援を充実するために必要な基本的な事柄が掲載されています。学校間連携の充実を図り、支援が必要な幼児児童生徒への切れ目ない支援の充実を図っていきましょう。

個別の教育支援計画

- 支援を必要とする幼児児童生徒について、乳幼児時期から学校卒業後までの一貫した長期的な計画を学校が中心となって作成
- 作成に当たっては関係機関との連携が必要
- 保護者の参画や意見等を聴くことも必要

個別の指導計画

- 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法を記載した指導計画
- 「指導の記録」として確実に引き継ぐことが必要

移行支援シート(県教委作成)

- 必要な情報をコンパクトにまとめ、就学・進学先へ引継ぎ、継続した支援が提供されるよう作成・活用するもの
- 保護者が、細かい説明をしなくても、就学・進学後の児童生徒の支援についての必要な情報が伝わり、保護者も本人も安心して就学・進学することができる。

どのような方法で、誰に引き継ぐかについて、事前に担当者間（特別支援教育コーディネーター等）で確認しておきましょう。

こちらのQRコードから、県教育委員会が作成した特別支援教育に関する資料等をダウンロードできます。



喜界町教育委員会 「キャリア教育に関する文部科学大臣表彰」受賞

令和5年度「第16回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」において、喜界町教育委員会が文部科学大臣表彰を受賞しました。本表彰は、毎年文部科学省が、「キャリア教育の充実を促進すること」を目的に実施しているものです。県教育委員会により推薦された、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績を認められる教育委員会、学校及びPTA団体等が受賞します。本年度の受賞は、全国の教育委員会が8団体、学校が98団体、PTA団体等が4団体であり、県内の教育委員会が受賞するのは平成28年度（第10回）以来です。喜界町教育委員会は、下記のような観点が大きく評価されました。

【観点①】 「ふるさとと自らの未来を切り拓くことのできる児童生徒の育成」を研究主題とした小中学校9年間を見通したキャリア教育の在り方についての研究・実践～令和3・4年度大島地区指定研究協力校キャリア教育（喜界町3小・中学校公開研究会）～

- キャリア教育の視点を位置付けた教育課程の見直し
- 小中学校における「キャリア・パスポート」の共通化
- 「伝え合う力」を高める日常的な授業実践
- サトウキビや白ゴマ栽培、隆起サンゴ礁などの産業的・地理的特性を生かした体験的な教育活動を教育課程に螺旋的に位置付けた児童・生徒の郷土愛の涵養
- 「キャリア・パスポート」の活用や伝え合う授業の実践による保護者・地域とのつながりを強みとした小中連携の在り方



【家庭学習習慣化サポート「やる気塾」の様子】

【観点②】 家庭学習の習慣化をサポートする「やる気塾」の継続実施（平成17年度から毎月第3土曜日）令和4年度からキャリア教育の視点で参加対象者を見直し、高校生にも参加を募ることで異年齢集団による学び合い・交流の活性化

- 小中学生の同学年グループ編成による学び合い
- 小中学生の問題演習に対する高校生の添削・解説（個別指導）

今後は、小中高連携や島内関係機関との連携、ICT活用による「人・物・事」の視点での島外とのつながりを強化した情報発信・交流による、喜界町のよさを生かした持続可能なキャリア教育を展開していきたい。

文部科学省は、キャリア教育の推進に当たって、学校等の教育関係者と地域・社会や産業界の関係者が連携・協働し、互いにそれぞれの役割を認識しながら、一体となって取り組むことを推奨しています。喜界町教育委員会の研究・実践は、この方向性に沿ったもので、大島地区のキャリア教育推進の参考になります。

研究成果の還元を

指定区分	学校名	研究テーマ
県	奄美市立大川小学校	運動する楽しさを実感し、意欲的に運動に親しむ、活力ある児童の育成【運動大好き“かごしまっ子”】
	瀬戸内町立古仁屋中学校	心豊かで思いやりの心に富む生徒の育成をめざした人権教育の推進【人権教育】
地区	奄美市立伊津部小学校	自己の学びを調整しながら主体的に学ぶ児童の育成【指導方法改善】
	奄美市立節田小学校	自分の考えをもち、学びを実感することができる子供の育成【指導方法改善】
	奄美市立笠利中学校	生徒一人一人が輝く教育活動の実践を目指して【指導方法改善】
	瀬戸内町立諸鈍小学校	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり【へき地・複式教育】
	龍郷町立龍郷小学校	自分の思いや考えをもち、表現することができる児童の育成【指導方法改善】
	天城町立天城小学校	自他を尊重し、よりよく生きようとする児童を育む道徳科の推進【道徳教育】
	天城町立天城中学校	認め合い 伝え合い 主体的に学び合える生徒の育成【人権教育】
	伊仙町立鹿浦小学校	主体的に学ぶ子供の育成【指導方法改善】
	知名町立知名小学校	国語を学ぶよさを実感できる国語科授業の実現【指導方法改善】
	与論町立茶花小学校	算数科の基礎的・基本的な力を身に付け、自信をもって表現する子供の育成【指導方法改善】
教セ	奄美市立宇宿小学校	自ら学び、自ら考える子供の育成

奄美の文化財 徳之島町尾母のアキムチ

奄美大島と徳之島には、五穀豊穡や集落の繁栄を願い、歌い踊りながら集落や家々を回り、餅や菓子をもらう行事として、「餅もらい行事」があります。餅もらい行事は、江戸時代の終わり頃には存在していました。餅もらい行事は、「タネオロシ」、「ムチムレ」、「アキムチ」など集落によって呼び方が異なります。減反政策や生活様式の変化などで稲作はほとんど行われなくなりました。しかし、「餅もらい行事」は、稲作と人々の生活の結びつきが強かったことを教えてくれる祭りです。



【徳之島町尾母集落で行われているアキムチの様子】